

第2次国分寺市教育ビジョン

「人と人とのつながり、
学びが循環するまち」

施策の方向性

- I 生きる力の育成
- II 学校教育環境の充実
- III 社会全体の教育力の向上
- IV 歴史遺産をいかした学びの推進

教育目標

目指す児童像

◎ 仲よく助けあう子

自分も人も大切に、互いに理解し協力して豊かに生きる子

○ よく考える子

すすんで学び、深く考え、自分の良さを伸ばす子

○ 体をきたえる子

健康で安全な生活をおくり、粘り強くやり抜く子

目指す学校像

○子供たちが主体的に学び、豊かに関わり合う

「学び、学び合う児童」 できる喜び・多様性の尊重

○教職員が協働し、組織の総合力で教育活動を推進

「研鑽し、支え合う教職員」 切磋琢磨で指導力向上

全児童を全教職員が組織力で育成 関係機関との連携

○保護者・地域から信頼される学校

「連携し、協働し合う拠点」

期待と信頼に応える 児童の育成のための協働体制

学校経営の基本方針（スローガン）

「自ら考え 共につくろう 笑顔あふれる第六小」

児童発案（自主性）の取組を大切に。児童同士、児童と教師、教師同士、学校・保護者・地域など、関わり合いを通して相互に高め合う。自己肯定感や自他を認め尊重する心、成長を喜び合う充実感によりすべての人を笑顔にする。

「国分寺学」により、身近なまちを知り、地域を大切に、未来を拓いていく児童を育む教育活動を展開していく。

教育目標の達成と 学校経営方針の具現化に向けた 今年度の取組

確かな学力の向上

主体的・対話的で深い学び

- ・見通しと振り返りの連動で、問題解決的な学習過程の定着
- ・対話や交流、協働の活動を重視
- ・体験活動を系統的に設定
- ・探究で情報活用能力と表現力
- ・ICT・タブレット型パソコンの活用推進

基礎・基本の学力の定着

- ・各教科・領域で言語環境の充実
- ・個に応じた学習支援の手立て
- ・T B D 等で学習事項の定着
- ・学年×10分の家庭学習と学年に応じた自主学習の習慣化

学習環境の整備

- ・授業規律や学習ルールの定着
- ・U D やインクルーシブの視点で指導や環境を工夫
- ・読書活動と学校図書環境の充実

健やかな体の育成

- ・体力と意欲の向上を図る授業改善
- ・運動の機会を広げる各週間の取組の充実
- ・保健・給食指導で心身の健康への自己管理能力を育成
- ・訓練や安全指導で危機回避・自他を守る能力を向上

開かれた学校づくり

- ・地域に学び貢献する子の育成
- ・地域の方や諸施設との交流を活発化
- ・各種方法で教育活動の情報を発信
- ・学校評価や各アンケートをPDCAにつなげ改善
- ・地域人材や教材を活用

豊かな心と人間性の育成

道徳の授業と指導の充実

- ・教科等と関連させ、自己の生き方を深める学習
- ・言語活動や教材の工夫で見方・考え方を働かせる指導
- ・人権課題に対応した「いじめ防止授業」を3回以上実施

特別活動の充実

- ・学級活動や学校行事等で児童発案の取組を支援
- ・係・当番活動の充実で所属感や達成感を獲得
- ・話し合い活動により、調整力や課題解決力を伸長
- ・異学年交流により、相互理解と他者貢献の意欲を醸成

いじめ・不登校対策の充実

- ・学校いじめ防止基本方針に基づいた迅速・適切な対策
- ・調査やリスト活用、観察でSOSのサインを掌握・対応
- ・資料等の活用でインターネット犯罪や人権の差別・偏見を防止
- ・学校復帰等支援会議で不登校への具体的支援を協議・共有
- ・「マルチルーム」の運営・活用

特別支援教育の推進

- *特別支援教育の視点を学級づくりの基盤とし、全児童の個性や可能性を伸ばす
- ・特別支援校内委員会の充実（情報共有、記録の活用、関係機関との連携等）
- ・発達の特質や対応に関する研修・研鑽の機会を充実
- ・特別支援教室指導との連携と理解教育の促進

学校運営と組織体制

- *チーム力・組織力で教育活動や課題解決にあたる
- ・経営会、運営会議、各委員会の定期開催
- ・OJT や課題別研修、研鑽で教員の指導力向上
- ・サービス規律の遵守とサービス事故ゼロの徹底
- ・学校予算の計画と適正な執行
- ・業務改善とライフワークバランスで働き方改革を推進